
スーパーコンスティテューション

レンレコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スーパーコンステイテューション

【Nコード】

N5124Z

【作者名】

レンレコ

【あらすじ】

はるか昔、聖徳太子の家系がそうだったとされる超体質を、そこから辺にいそうな中学生、光誠が受け継いだ。彼はそのことを隠しているが、ある事件が起こり、たいへんめんどくさいことになってしまった。

そんな宿命を背負ってしまった光誠の、すてきなストーリー。

いつもの朝

世は不思議に満ちている

UFO、ピラミッドなど、現代の科学では説明の付かないものがあるのだ

その中にこんなものがある

スーパーコンステイテーション
超体質

これに聞き覚えのある人はほとんどいないだろう

あの聖徳太子がそうであったという説もある

はるか昔にその力をめぐって戦いが起こったそうだ

戦いはしずまったが、彼の家系は途絶えたと言われる

だが現在、その超体質を受け継いだ者がいる

これは、その宿命を背負ってしまった一人の男の子の物語である

「光誠ー。これ開けてー。」

母親から苺ジャムの瓶をわたされた光誠は
力一杯ふたを回した。

「いヨッ!」

ふたはぴくりとも動かない。

「いいよ、もういっかい貸して」

そういつて母親は手を差し出したが

彼はそれを阻むように右手を挙げ、もう一度手をふたに置いた。
パカッ

今の彼はとても力んだようには見えなかった。

彼の体質とは、力を込めたときに破壊される筋繊維が
何秒かの間だけ以前よりもはるかに強く修復される、
いくなれば超筋肉質だった

ありがとう、といって母親はそのジャムを焼きたてのパンに塗って
いる。

「いやゝ相変わらず光誠は役に立つね。」

「まあ、ね。」

「ちよつとさわらせてよ。」

母親は光誠の返事を聞かずに彼の二の腕をつかんだ。

彼の腕は鉄のようにかたい。

「男の子はやっぱり筋肉がしっかりしてるのがいいよね。」

母親は惚れ惚れしながら独り言のようにそういった。

「もう行ってきます。」

光誠は立ち上がり、スクールバッグをとった。

「いつてらっしゃい。」

いつもの声にいつものようにうん、と返事をした。

光誠は家を出てすぐの道を左に曲がった。

毎朝この道で、「絶対に能力は見せてはいけない」と誓っている。

昨日も誓った。今も誓って、明日も誓うだろう。

そう思って、また歩き始めた。

だが、この日はいつもと違っていた。
そして事件は学校で起こった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5124z/>

スーパーコンスティテューション

2011年12月17日12時56分発行